

FY2018（2019年3月期） 決算説明会

株式会社島津製作所
代表取締役社長 上田輝久

2019年5月13日

内容

1. F Y 2018 決算
2. F Y 2018 セグメント別業績
3. F Y 2019 通期予想
4. 主な取り組み
5. 補足資料

1. F Y 2018 決算
2. F Y 2018 セグメント別業績
3. F Y 2019 通期予想
4. 主な取り組み
5. 補足資料

決算ハイライト



過去最高業績を更新

- 6期連続の増収増益
- 売上高・営業利益・経常利益・純利益の全項目について4期連続で過去最高を更新

計測・産業が牽引

- 計測・産業が牽引
- 計測は、戦略機種^①の質量分析計が環境・食品安全で拡大
環境機器が中国で水質モニターを中心に拡大
- 産業は、セラミックス・超硬工具に向け真空熱処理炉が大幅に拡大、
半導体市況の影響で停滞したターボ分子ポンプ^②をカバー

高収益性が持続

- 営業利益率は11.4%（前期と同じ）で、高収益性を継続

損益計算書

- ◆ 売上高は3,912億円（前年差+147億円、前年比+4%）
- ◆ 営業利益は445億円（前年差+17億円、前年比+4%）

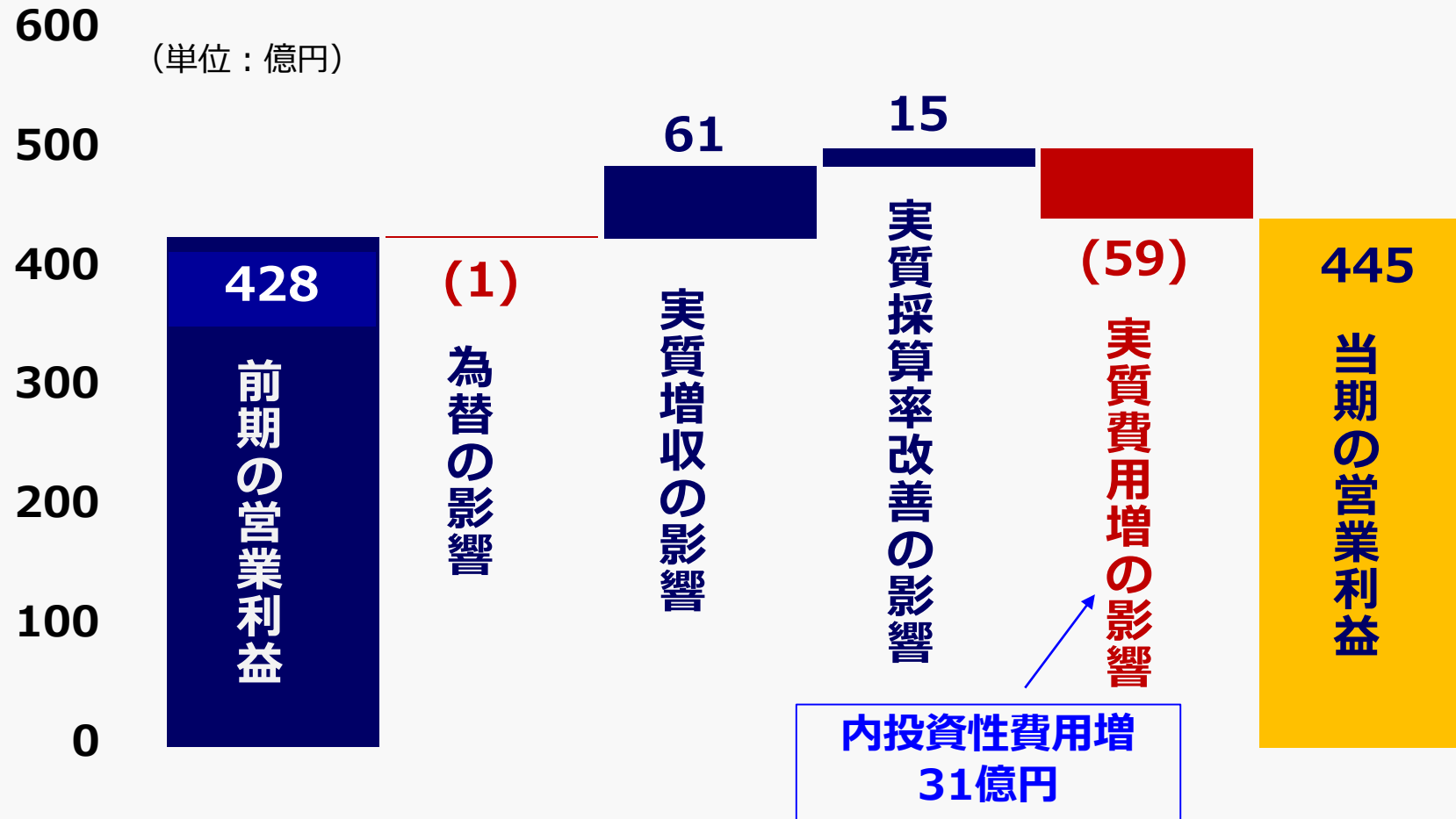
		通期		前期比	
単位：億円		FY2018	FY2017	差額	増減率
業績	売上高	3,912	3,765	+147	+4%
	営業利益	445	428	+17	+4%
	営業利益率	11.4%	11.4%	—	
	経常利益	455	419	+36	+9%
	親会社株主に帰属する当期純利益	325	298	+27	+9%
為替	平均レート：米ドル（円）	110.96	110.91	+0.05	0%
	ユーロ（円）	128.44	129.75	▲1.31	▲1%
主要投資	研究開発費	166	155	+11	
	設備投資額	217	172	+45	
	(減価償却費)	115	106	+9	
指標	EPS（円）	110.41	101.26	+9.15	
	ROE（%）	11.7%	11.7%	—	

◆ 為替影響は僅少

- ・ 売上高 : ▲6億円
- ・ 営業利益 : ▲1億円

営業利益 増減要因(2018.4-2019.3)

- * 実質的な増収による利益増 + 61億円、採算率改善による利益増は + 15億円
- * 投資性費用31億円を含む実質費用増は59億円



事業セグメント別 損益

- 計測・産業は増収増益、医用は増収減益、航空は減収減益
- 計測は6期連続で増収増益で、営業利益率も16.1%（前期比で+0.1pt）に向上
- 医用は日本・欧州が好調で増収となったが、北米での先行投資により減益
- 産業は4期連続で増収増益で、営業利益率も9.8%（前期比で+0.6pt）に向上

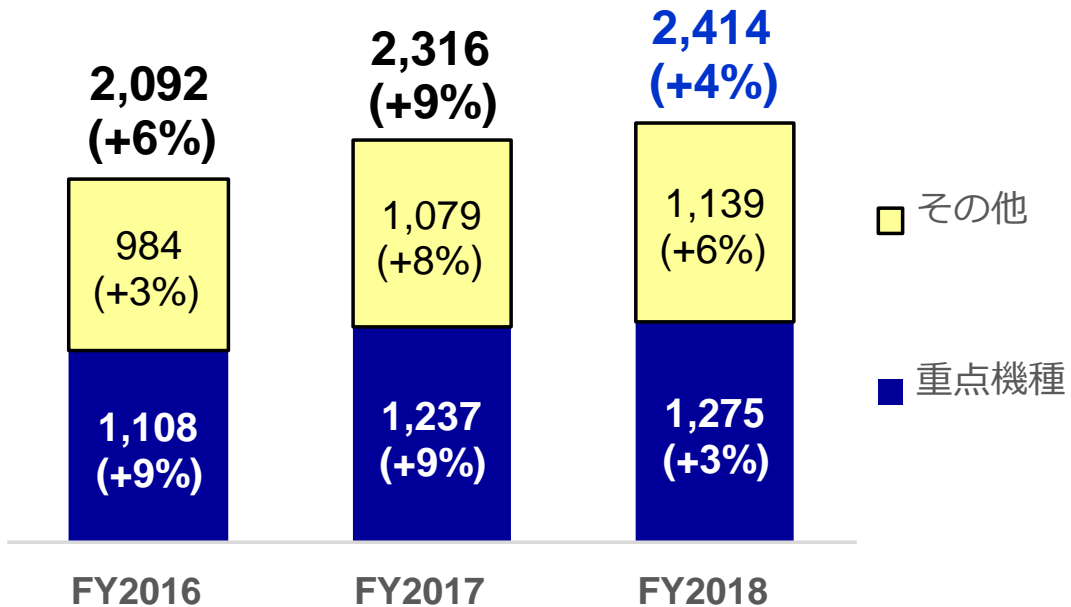
単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2018	FY2017	前期比		FY2018	FY2017	前期比		FY2018	FY2017	前期比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	2,414	2,316	+98	+4%	388	370	+17	+5%	16.1%	16.0%	+0.1pt
医用	691	659	+32	+5%	23	27	▲ 4	▲14%	3.4%	4.1%	▲0.7pt
産業	454	442	+12	+3%	45	41	+4	+9%	9.8%	9.2%	+0.6pt
航空	273	276	▲ 3	▲1%	1	5	▲ 4	▲75%	0.4%	1.7%	▲1.3pt
その他	80	72	+7	+10%	14	9	+5	+54%	17.3%	12.3%	+4.0pt
調整額					▲ 26	▲ 24	▲ 2				
合計	3,912	3,765	+147	+4%	445	428	+17	+4%	11.4%	11.4%	0.0pt

1. F Y 2018 決算
2. F Y 2018 セグメント別業績
3. F Y 2019 通期予想
4. 主な取り組み
5. 補足資料

計測機器 / サブセグメント売上高

重点機種 1,275億円 : +38億円(+3%)	MSが環境や食品安全等で拡大、GCも新製品が寄与、一方LCは新製品投入前で横ばい
その他 1,139億円 : +60億円(+6%)	中国での汚染源対策強化を背景に、環境機器が水質モニターを中心に牽引
海外売上高比率 59% : +2ポイント	日本1%増。海外7%増、その他地域を除く海外全地域で拡大し海外比率が向上
アフターマーケット売上 733億円 : +92億円 (+14%)	LCカラムなど消耗品のラインアップを拡充、アフターマーケット比率は30%に向上
アフターマーケット比率 30% : +2ポイント	

売上高推移 (億円)



* 重点機種 : 液体クロマトグラフ (LC) 質量分析計 (MS) ガスクロマトグラフ (GC)

計測機器製品

その他

重点機種



水質分析計



非破壊検査システム



赤外分光光度計



蛍光X線分析装置



新LC
Nexera Series



LCMS-9030



Nexis GC-2030



GCMS-QP200 NX

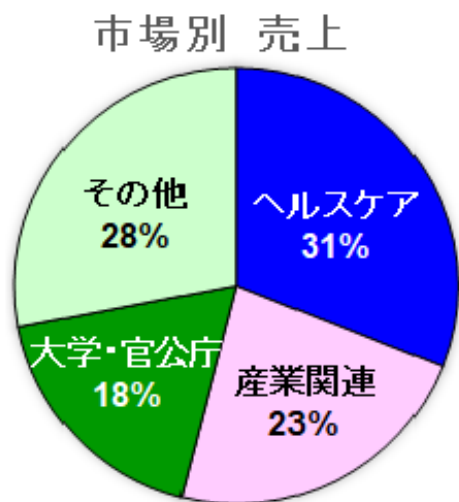
計測機器 地域別売上高

- 日本は1%増
- 海外は7%増、米州・欧州・中国・その他アジアで拡大
- 海外売上高比率は、前期比 2ポイント拡大、59%に向上

	FY2018	FY2017	増減額	増減率	概況
日本	997	986	+11	+1%	・重点機種は前期比マイナスだったものの、機械・輸送機向けに非破壊検査装置が好調で横ばい
中国	555	519	+36	+7%	・環境モニタリング装置が大幅増 ・大学・研究機関、受託分析向けにMSが好調
北米	256	232	+24	+10%	・ヘルスケア・食品分野が牽引し、LC、MSが二けた成長
欧州	250	227	+23	+10%	・食品、受託分析、臨床分野向けにMSが好調
その他 アジア	257	247	+10	+4%	・インド：中小ジェネリック製薬の設備投資減等により▲2% ・東南アジア：製薬向け、環境対応規制向けに重点機種が好調で+14%

計測機器 市場別売上高比率

- **ヘルスケア** : +4% 健康に関連する市場は高成長
- **産業関連** : +2% 新素材開発市場が成長
- **大学・官公庁** : ▲4% 一部地域の予算執行遅れが響く
- **その他** : +5% 分析機器市場の裾野が拡大

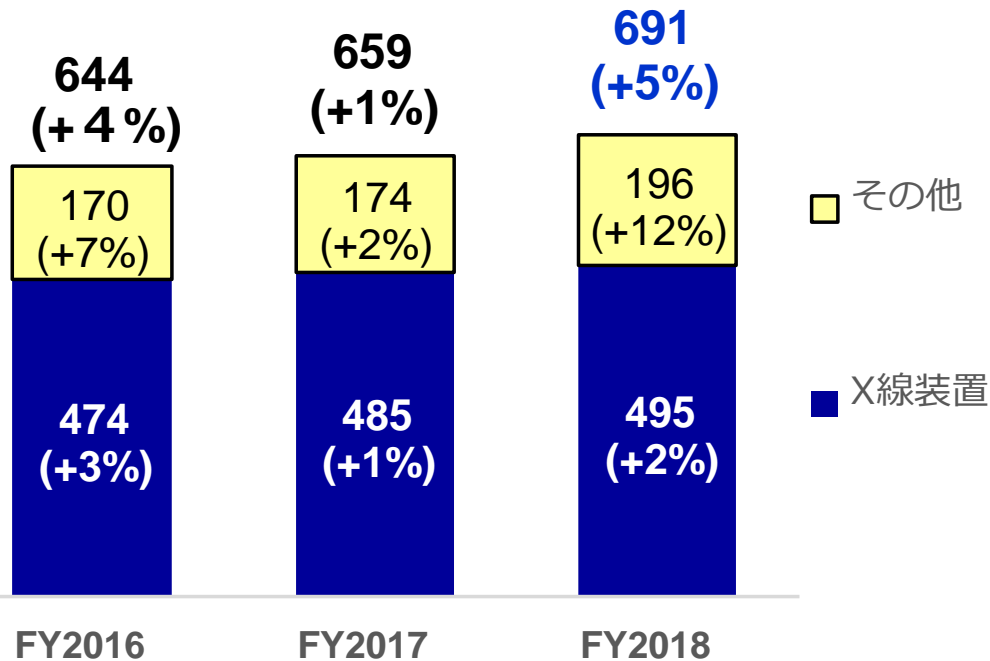


市場	主な業界	比率 (FY2018)	前期比	概況
ヘルスケア	医薬・食品 医療機関 受託分析業	31%	+4%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品安全、環境規制、薬物検査、カナビスなどの市場が拡大 ・ 医薬は地域によって温度差あり
産業関連	化学・素材 電機 自動車	23%	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新素材分野は好調 ・ 石化関連へのGCの新製品効果 ・ 電機・電子などで米中貿易摩擦の影響を受け始め、後半減速
大学・官公庁		18%	▲4%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本で大学予算の執行遅延等
その他		28%	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分析機器顧客の裾野が拡大

医用機器 / サブセグメント売上高

X線装置 495億円 : +10億円 (+2%)	X線撮影、血管撮影、X線TVの3機種全てで増収
その他 196億円 : +22億円 (+12%)	放射線治療装置用動体追跡システムが国内で大きく拡大
海外売上高比率 42% : ▲3ポイント	日本10%増、海外2%減、欧州が好調な一方、北米・中国で停滞
アフターマーケット売上 205億円 : +4億円(+2%)	血管撮影などハイエンド装置で保守契約が増加
アフターマーケット比率 30% : 一定	

売上高 推移 (億円)



医用機器製品

X線装置	<p>X線一般撮影システム</p>	<p>回診用装置</p>	<p>血管撮影システム</p>	<p>X線TVシステム</p>
	<p>マンモPETシステム</p>	<p>近赤外光カメラシステム</p>	<p>近赤外光イメージング装置</p>	<p>放射線治療関連装置</p>
その他				

* X線装置 : X線撮影システム、血管撮影システム、X線TVシステム

医用機器 地域別売上高

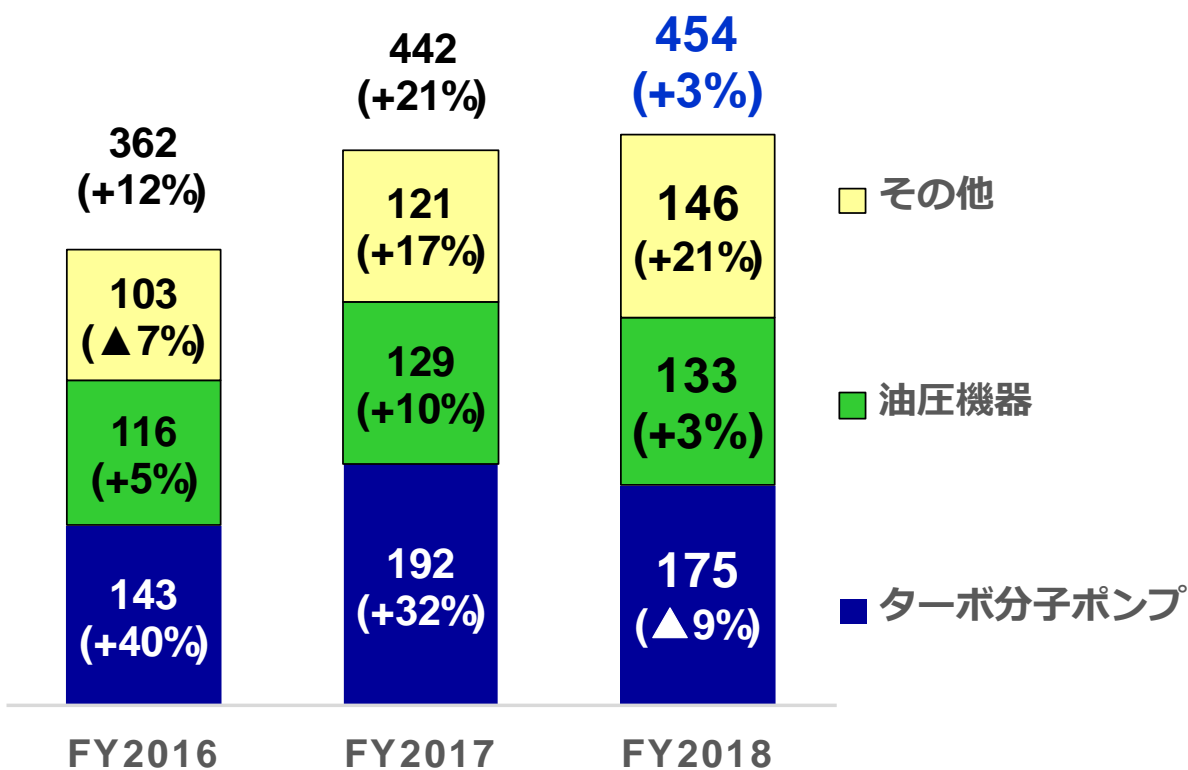
- 日本は10%増
- 海外は7%増、北米・中国が厳しい中、欧州・その他アジアでカバーして増収
- 海外売上高比率は、前期比 3ポイント減少、42%にとどまる

	FY2018	FY2017	増減額	増減率	概況
日本	402	366	+36	+10%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療所向けにX線撮影システムが好調 ・ 放射線治療装置用動体追跡システムが拡大
欧州	43	32	+11	+33%	<ul style="list-style-type: none"> ・ X線撮影システム、血管撮影システム、X線TVシステムの3機種全てで増収
その他 アジア	53	50	+3	+6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大口案件により、血管撮影システムが好調
中国	58	64	▲6	▲9%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国産品優遇による影響、地方政府債務増大による設備投資減 ・ 入札遅延等により減収
北米	81	92	▲11	▲12%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年のデジタル化促進施策の反動でX線撮影システムの需要減

産業機器 サブセグメント売上高

TMP 175億円：▲17億円（▲9%） 半導体製造装置向け減、コーティング装置向け及びサービス増加
 油圧 133億円：+4億円（+3%） 特徴である低騒音が評価され日本及び中国で増収
 その他 146億円：+25億円（+21%） 真空熱処理炉が、工作機械需要増で大きく伸長

売上高 推移（億円）



産業機器製品

その他



真空熱処理炉



高速スパッタリング装置



バランス

ターボ分子ポンプ



ターボ分子ポンプ

油圧機器



油圧ギアポンプ

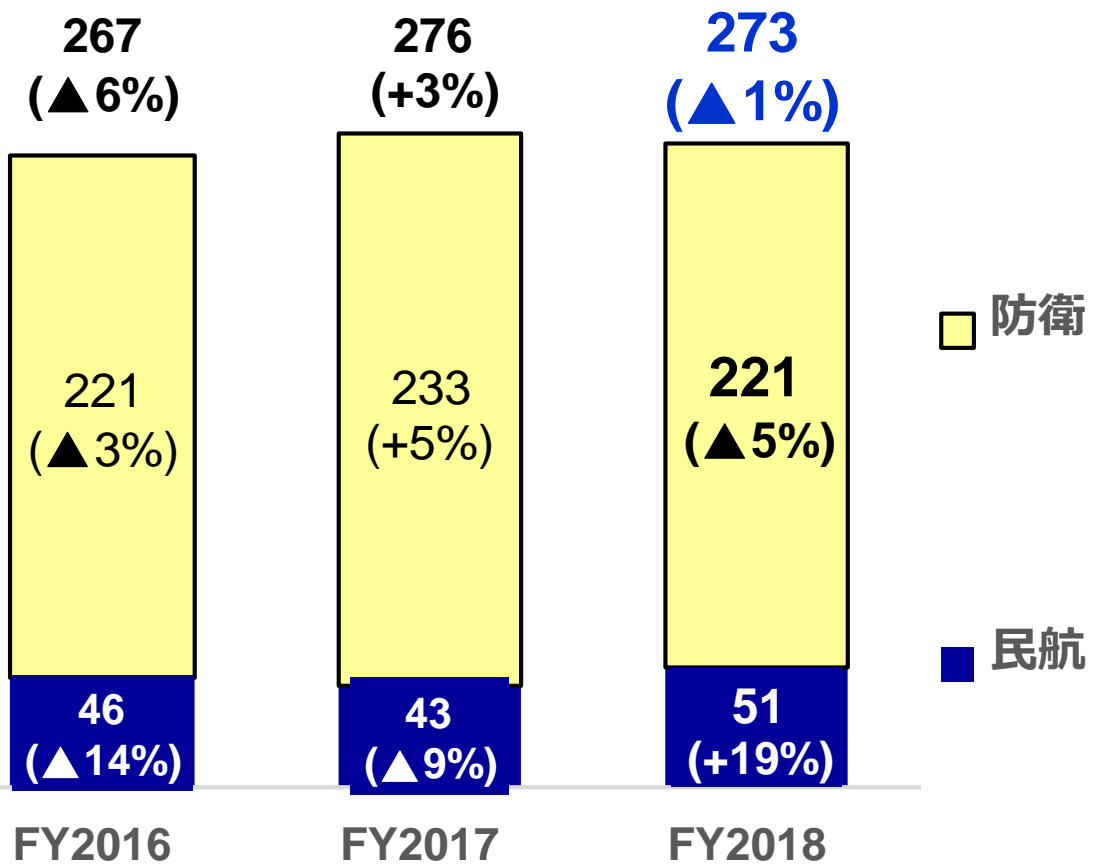


コントロールバルブ

航空機器

➤ 民航：+19% 新規部品売上増等により増収
 ➤ 防衛：▲5% 前期は通常納入に加え一括納入あり。今期は反動から減収

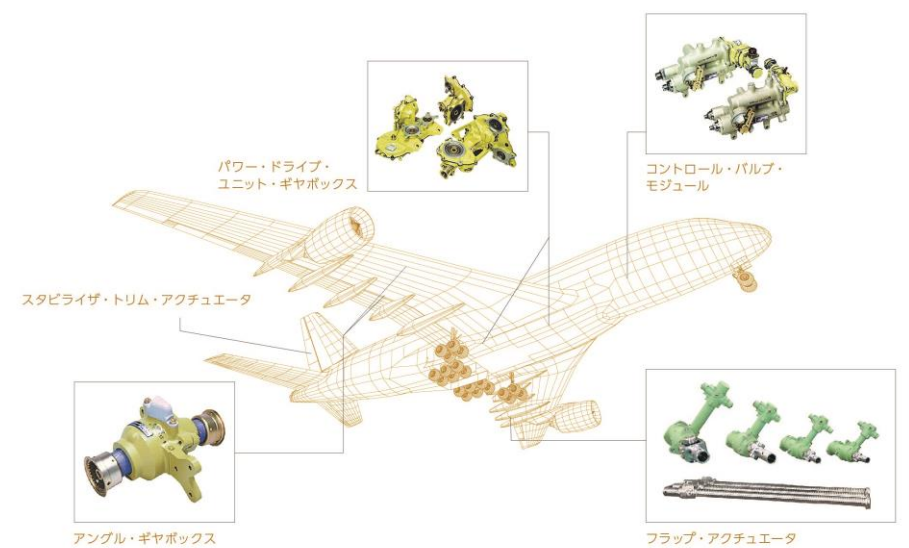
売上高 推移 (億円)



航空機器製品

- 防衛
FY2017にP-1、C-2等で一括納入あり
- 民航

航空機搭載機器(旅客機)



1. F Y 2018 決算
2. F Y 2018 セグメント別業績
- 3. F Y 2019 通期予想**
4. 主な取り組み
5. 補足資料

FY2019 業績予想

- 研究開発の強化、設備投資の拡大など成長に向けた投資を拡大しつつ、更なる増収増益（7期連続）、また過去最高業績更新（5期連続）を計画

		通期		前期比			
単位：億円		FY2019	FY2018	差額	増減率	除為替影響	
業績	売上高	4,100	3,912	+188	+5%	+258	+7%
	営業利益	470	445	+25	+6%	+48	+11%
	営業利益率	11.5%	11.4%	+0.1pt	-		
	経常利益	470	455	+15	+3%		
	親会社株主に帰属する当期純利益	340	325	+15	+5%		
為替	平均レート：米ドル（円）	105.0	111.0	▲ 6.0	▲5.4%		
	ユーロ（円）	130.0	128.4	1.6	+1.2%		
主要投資	研究開発費	190	166	+24			
	設備投資額	240	217	+23			
	(減価償却費)	130	115	+15			

F Y 2019通期予想 (セグメント別)

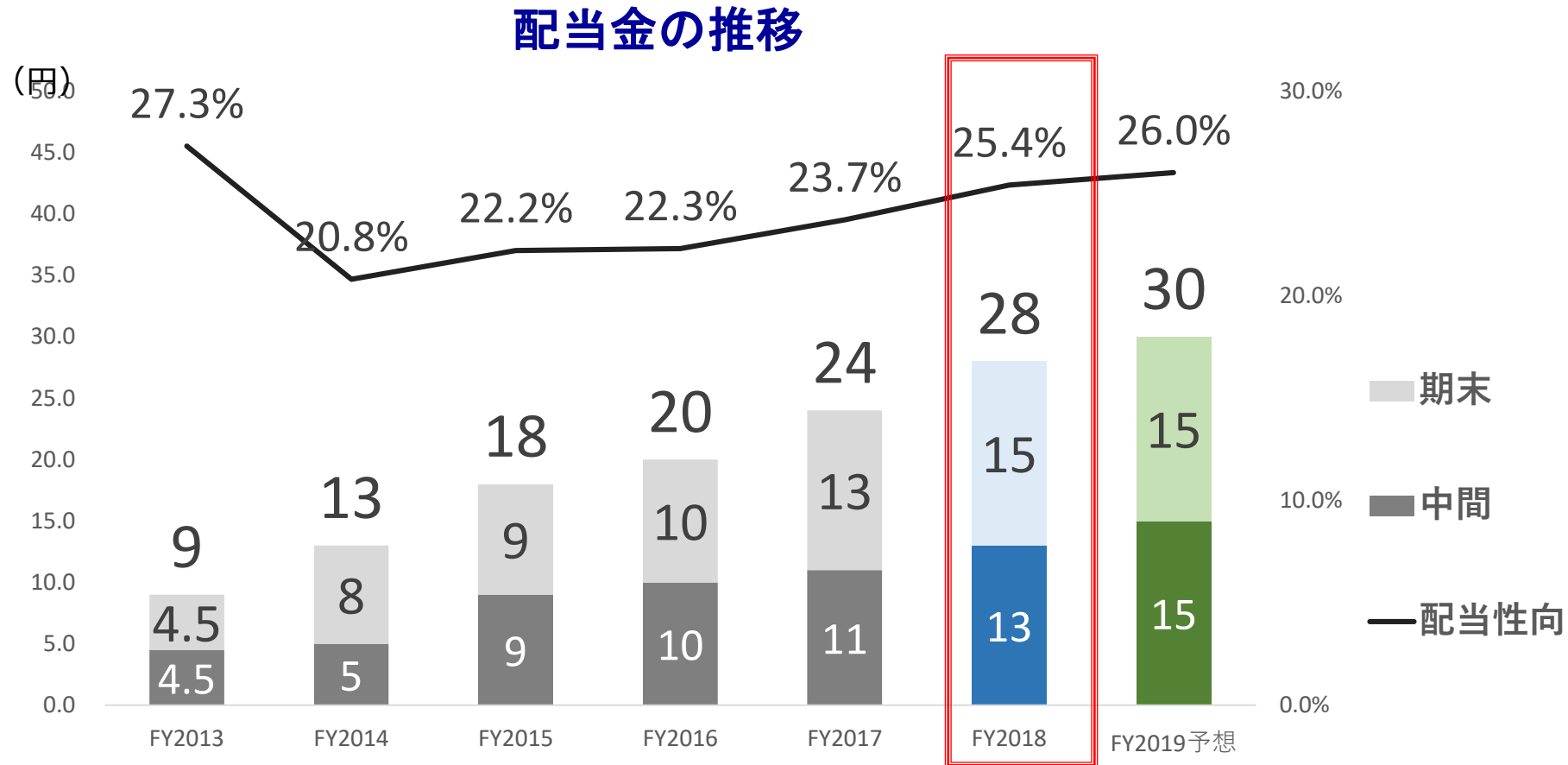
- 主要セグメント全てで増収増益を目指す
- 計測は7期連続、産業は5期連続の増収増益を目指す
- 産業の営業利益率は、中期目標の10%以上を計画

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2019 計画	FY2018	前期比		FY2019 計画	FY2018	前期比		FY2019 計画	FY2018	前期比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	2,565	2,414	+151	+6%	415	388	+27	+7%	16.2%	16.1%	+0.1pt
医用	720	691	+29	+4%	29	23	+6	+25%	4.0%	3.4%	+0.7pt
産業	480	454	+26	+6%	49	45	+4	+10%	10.2%	9.8%	+0.4pt
航空	285	273	12	+4%	7	1	+6	+488%	2.5%	0.4%	+2.0pt
その他	50	80	▲ 30	▲37%	7	14	▲ 7	▲49%	14.0%	17.3%	▲3.3pt
調整額					▲ 37	▲ 26	▲ 11				
合計	4,100	3,912	+188	+5%	470	445	+25	+6%	11.5%	11.4%	+0.1pt

配当

- 方針：研究開発など成長に向けた積極的投資とバランスをとり、株主への着実な還元を実施
- 配当：FY2018 期初予想より2円増配し28円（中間13円、期末15円*）
- FY2019予想 中間15円、期末15円 年30円（6期連続の増配）

* 定時株主総会決議後に確定



1. F Y 2018 決算
2. F Y 2018 セグメント別業績
3. F Y 2019 通期予想
- 4. 主な取り組み**
5. 補足資料

2019年度の重点事業戦略

《計測機器》

1. 新製品の展開 (LC・高分解能MS)
2. ITソリューション、AM強化
3. 研究開発の協業推進
4. 中国での事業拡大



新「Nexera」シリーズ

《医用機器》

1. アフターマーケット事業強化
2. 北米事業の強化



《産業機器》

1. TMP事業の強化
2. 真空熱処理炉等の拡大



《航空機器》

1. 新規事業立上げ



ヘルスケアR&Dセンター

中期経営計画の達成
及び次期中計での
持続的成長へ



SHIMADZUみらい共創ラボ

計測機器：LCの新製品展開

- 利便性・分析支援機能を飛躍的向上
- 大幅な省スペース化の実現
- 次世代のLCとして、ラインアップを一新



新「Nexera」シリーズ

■ 高度な分析支援機能

- センサーによる高度な自己診断機能
(温度制御・移動相量など)
- スマートデバイスからの遠隔モニター
- 大型タッチパネルの採用

■ 大量自動分析：オートサンブラ

- 自動分析のサイクル時間を短縮
- 前の分析試料の残溜を極小化
- データの信頼性向上を実現

■ 省スペース・省消費電力

- 競合同等機種比で最小レベルの装置巾（390mm）
- 大幅な省電力化も実現
(12hr分析・12hr待機運転で従来比26%減)

■ 消耗品・アプリの拡大へ

- 生体試料分析用UHPLCなど、バイオ医薬開発に向けた応用システムを開発
- 同時に専用消耗品（カラム）・アプリも拡充

計測機器：MSの新製品展開

- ラインアップの強化とシステム製品の展開
- AIを活用した高度なデータ処理を実現
- Direct MS による、創薬・医学・生物学などでの新分野の開拓を推進

■ 飛行時間型四重極LCMS

- アプリケーションソフトを拡充、ハイエンド分野の開拓を推進
 - 「未知成分検出」
 - 「代謝解析」
 - 「タンパク解析向け」等



LCMS-9030

■ 四重極LCMS

- 更なる高速化、操作性を向上、付加価値向上
- AIを活用し、データ処理を高精度化



LCMS-8060

■ 四重極GCMS

- 前処理装置など周辺装置を拡充
- 充実したアプリケーションで、規制対応も含めて展開強化、食品・環境・香料・化学等の分野で一層の拡大を図る

GCMS-
TQ8050NX

■ Direct MS

- 探針エレクトロスプレーイオン化質量分析計 DPiMSによる迅速スクリーニングの展開
- 質量顕微鏡 "iMScope" の質量分析性能・イメージング性能を向上



DPiMS-2020

計測機器：ITソリューション、AM強化

- 「ITソリューションビジネスユニット」を新設
ネットワークシステムなどソフトウェア製品のマーケティング・開発を一元化し計測機器のIoT化を推進
- 「消耗品ビジネスユニット」を新設
試薬・消耗部品事業の拡大を推進、マーケティング、新規開発で独自のラインアップ拡充

◆ITソリューションビジネスユニット



分析データシステム ER/ES関連規制対応
Progress Configuration of LabSolutions System
LabSolutions

ネットワーク時代の革新的な分析操作環境における情報の
保全と共有を目指した完全なデータ管理システムを提供します。



- 多様な装置を結ぶネットワークの構築
- バリデーションサポートの提供
- ソフトの開発強化・迅速化
- IT関連の新技术の活用

■消耗品ビジネスユニット



ALSACHIM
a Shimadzu Group Company

Label Your Life

www.alsachim.com



- 試薬・消耗品のラインアップを拡充
 - LC、MS、GCなどの試薬・消耗品の新規開発
- * 仏アルザシム(2017.6買収)による
試薬キットの開発を加速

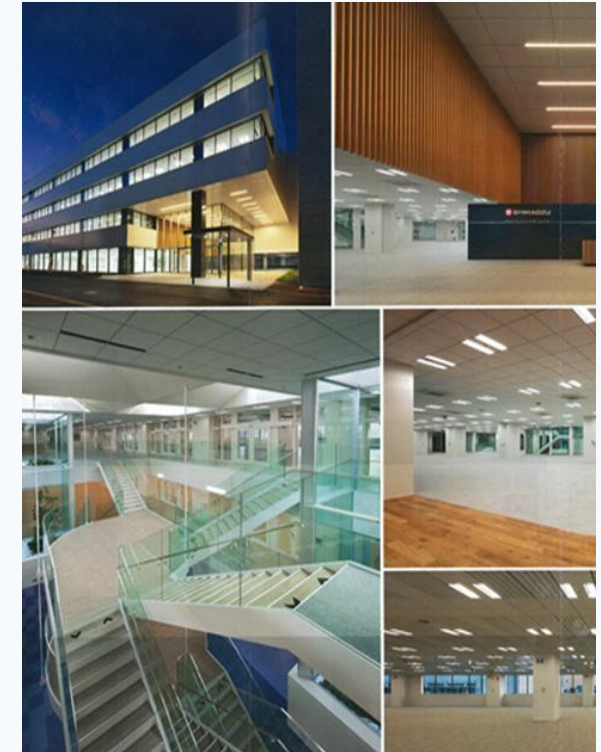


計測機器：協業の推進

- ヘルスケアR&Dセンターが本年2月に竣工、ライフサイエンス技術部門を集約
- 同センターでは、共同研究環境（共同研究用ラボ）を整備
- 大学・企業等の異分野の先端的パートナーとの協業を推進、新事業創出を加速
- 分析と医用の連携を深化、ヘルスケア分野での新たな付加価値を追求

ヘルスケアR&Dセンター 共同研究用ラボでの先端的な研究事例

研究テーマ	分野	共同研究機関
早期がんスクリーニング解析システム高度化	医療 がん	神戸大学 国立がん研究センター他
自動前処理装置の開発	食品	欧州の受託分析会社
次世代細胞ラボ事業の実証評価	バイオ	株式会社 iPSポータル



計測機器：中国での取組み

- 大学、臨床、受託分析、環境など「成長市場での展開を強化」
- ラインアップを一新したLCで製薬ビジネスを拡大
- GCの石油化学分野でのシェア向上
- 分析センターを拡充、顧客へのキメ細かいサービスを強化

■ 成長市場（大学・臨床・受託分析・環境等）での展開を強化

- 大学：「双一流」政策などハイエンド製品の拡大
- 受託分析：疾病スクリーニング検査、食品安全、
- 医薬品の安全性評価など
- 環境：VOCや重金属分析での拡大
- 石油化学：システムGCの展開強化



■ 分析センターの拡充

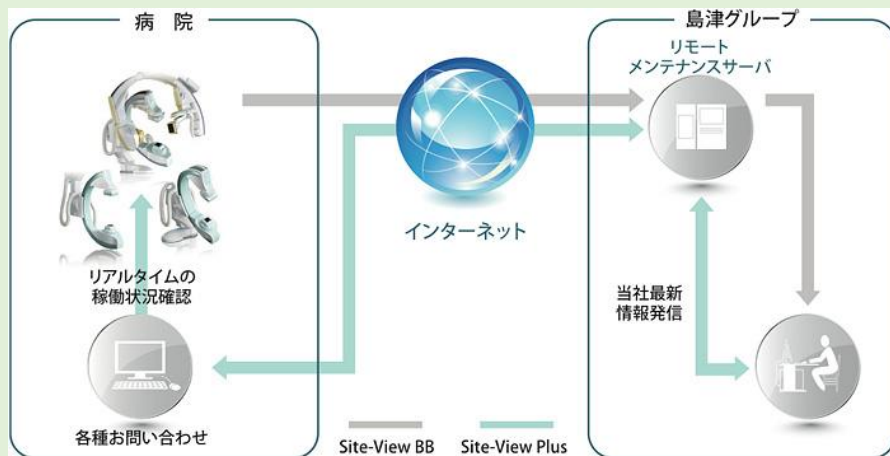
- 湖北省武漢市に分析センターを新設、内陸部顧客への支援サービスを充実
- 広東省広州市の分析センターを拡充（現状の4倍規模へ）、深圳等の新興企業への支援を強化
- 分析センターは、中国全土で7ヶ所となり、顧客へのよりきめ細かい支援サービスを推進

医用機器：収益性向上の取組み強化

- アフターマーケット事業の拡大（海外での展開を強化）
- 北米事業の強化（直販・直サービス化、ラインアップを拡充）

■ アフターマーケット事業の拡大

- 診断・治療支援装置のユーザーサポート強化
- カスタマーサポートセンターの中国展開
- グローバルパーツセンターからの部品供給拡充
- AI・IoTを活用した故障予知



■ 北米事業の強化

- 直販・直サービス体制の強化
- 血管撮影システムの事業拡大
- X線TV市場の7割を占める近接操作式X線TV市場に新製品投入
- 撮影装置をクリニック市場へ拡販



産業機器：収益性向上の取組強化

- **TMP事業の強化**
- **真空熱処理炉事業で新製品の投入、新分野での展開**

➤ ターボ分子ポンプ（TMP）のシェア拡大

- 欧米の半導体製造措置大手での取組強化
- 分析装置用の少排気量TMPなどラインアップを拡充
- 海外でのオーバーホール、アフターマーケット事業拡大
(2018.6 ドイツのinfraserV Vakuu Serviceを買収)



◆ 真空熱処理炉の拡大

- 真空熱処理炉の高機能化と新分野の開拓



航空機器：事業再構築（新事業の立上げと民航事業の拡大）

- 航空機の安全を支える試験検査ビジネスの開始(計測・画像処理技術の融合)
- 新規案件の獲得と協業関係の深化による民航事業の拡大

■ 試験検査ビジネス

- 試験検査システムの提供
品質管理の強化と試験検査効率の向上を支援
- 新しい検査技術の提供



■ 民航事業の拡大

- 新規案件の獲得
中・小型機の増産により市場は拡大
- アフターマーケット事業拡大による収益力強化



事業を通じたSDGsへの貢献

- ◆ 社会課題の解決と事業貢献が重なり合うCSV（共有価値の創造）を推進
- ◆ SDGsを活用して、マテリアリティを明確化

事業の取組項目をSDGsで整理

SDGsに対する事業での貢献度分布



今後の具体的な取り組み

3 すべての人に
健康と福祉を



- ・ 個別化/先制医療の推進
- ・ 予防医療のための生体成分分析と治療計画
- ・ 機能性食品の開発支援

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



- ・ 再生可能エネルギーの発電効率化の開発支援
- ・ 輸送機の軽量化のための新素材の開発支援
- ・ 燃料電池の開発/製造支援

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



- ・ 音波・光波を用いたインフラ構造物の検査
- ・ 量子科学を用いた新たなセンサーの開発
- ・ マテリアルズインフォマティクスの技術開発

目次

1. F Y 2018 決算
2. F Y 2018 セグメント別業績
3. F Y 2019 通期予想
4. 主な取り組み
5. 補足資料

地域別（全社）

単位：億円	通期		円ベース		除為替影響	
	FY2018	FY2017	前同比		前期比	
			差額	率	差額	率
日本	1,939	1,877	+62	+3%	+62	+3%
米州	489	481	+8	+2%	+8	+2%
北米	436	425	+10	+2%	+11	+3%
欧州	313	276	+37	+13%	+40	+14%
中国	719	684	+34	+5%	+34	+5%
その他のアジア	353	341	+11	+3%	+12	+4%
その他*	99	105	▲6	▲6%	▲3	▲3%
合計	3,912	3,765	+147	+4%	+154	+4%
海外売上高	1,973	1,889	+84	+4%	+91	+5%
海外売上高比率	50.4%	50.2%	+0.3pt	0	+0.3pt	

地域別（計測）

単位：億円	通期		円ベース		除為替影響	
	FY2018	FY2017	前同比		前期比	
			差額	率	差額	率
日本	997	986	+11	+1%	+11	+1%
米州	292	271	+22	+8%	+22	+8%
北米	256	232	+24	+10%	+24	+10%
欧州	250	227	+24	+11%	+26	+12%
中国	555	519	+36	+7%	+36	+7%
その他のアジア	257	247	+10	+4%	+10	+4%
インド	98	100	▲2	▲2%	▲2	▲3%
その他*	62	66	▲4	▲7%	▲3	▲5%
合計	2,414	2,316	+98	+4%	+102	+4%
海外売上高	1,417	1,329	+87	+7%	+92	+7%
海外売上高比率	58.7%	57.4%	+1.3pt		+1.3pt	

地域別（医用）

単位：億円	通期		円ベース		除為替影響	
	FY2018	FY2017	前同比		前期比	
			差額	率	差額	率
日本	402	366	+36	+10%	+36	+10%
米州	98	109	▲11	▲10%	▲11	▲10%
北米	81	92	▲11	▲12%	▲11	▲12%
欧州	43	32	+11	+33%	+11	+34%
中国	58	64	▲6	▲9%	▲6	▲9%
その他のアジア	53	50	+3	+6%	+3	+6%
その他*	37	39	▲1	▲3%	▲0	▲0%
合計	691	659	+32	+5%	+34	+5%
海外売上高	289	294	▲4	▲2%	▲3	▲1%
海外売上高比率	41.9%	44.5%	▲2.6pt	0	▲2.6pt	



SHIMADZU

Excellence in Science

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部
IRグループ

電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp